

12/11 頃

## 窓口2割負担 来年10月から

### 75歳以上の医療費 政府検討

一定の収入がある75歳以上の人

人が医療機関の窓口で支払う自己負担額を1割から2割へ引き上げる仕組み

対象となるのは、75歳以上で年金などの年収印安が

単身で200万円以上、夫

婦で320万円以上といっ

た条件を満たす人。

75歳以

上の窓口負担は原則として

1割だが、来年10月からは

22年度に年間ベースで

75歳以上の約1815万人

のうち約370万人は2割

負担に切り替わる。

一定額以上の医療費は高額療養費制度で補助されるため、必ずしも負担が2倍になるわけでないが、窓口

負担は年平均で約8万3千

円から約10万9千円（時限

的に負担軽減する措置を含

む）に増える。ただし、こ

れは通年の試算のため、後

半から2割負担が始まる22

年度は実際の支払額がこれ

一定の収入がある75歳以上の人

人が医療機関の窓口で支払う自己負担額を1割から2割へ引き上げる仕組みについて、政府は「2022年度後半」としていた開

始時期を、来年10月1日とする方向で検討に入った。

対象者が窓口で支払う平均額は22年度に年間ベースで

約2万6千円増えるとしている。

対象となるのは、75歳以上で年金などの年収印安が

単身で200万円以上、夫婦で320万円以上といっ

た条件を満たす人。

75歳以上の窓口負担は原則として

1割だが、来年10月からは

22年度に年間ベースで

75歳以上の約1815万人

のうち約370万人は2割

負担に切り替わる。

一定額以上の医療費は高額療養費制度で補助されるため、必ずしも負担が2倍になるわけでないが、窓口

負担は年平均で約8万3千円から約10万9千円（時限的に負担軽減する措置を含む）に増える。ただし、こ

れは通年の試算のため、後半から2割負担が始まる22年度は実際の支払額がこれより小さくなる見込みだ。

（村井隼人）